

NIHON FUKUSHI UNIV.

2024年度 入学試験要項

総合型選抜

- 第2・3学年一般編転入学試験【前期日程・後期日程】
- 第2・3学年日本福祉大学中央福祉専門学校推薦編入学試験
- 第3学年指定校推薦編入学試験【前期日程・後期日程】
- 第3学年同窓会推薦編転入学試験【前期日程・後期日程】

目次

社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格について	1
I 第2学年一般編転入学試験【前期日程・後期日程】	2
II 第2学年日本福祉大学中央福祉専門学校推薦編入学試験	4
III 第3学年一般編転入学試験【前期日程・後期日程】	5
IV 第3学年指定校推薦編入学試験【前期日程・後期日程】	7
V 第3学年日本福祉大学中央福祉専門学校推薦編入学試験	9
VI 第3学年同窓会推薦編転入学試験【前期日程・後期日程】	10
VII 編転入学後の単位認定・資格取得について	12
VIII 各入学試験共通事項	
1 出願書類	17
2 出願上の注意	20
3 受験上の注意	20
4 入学手続期間	21

別冊子「各入学試験 共通事項」も併せてお読みください。
上記の目次をよく見て、必要な事項を見落とさないように十分注意してください。

日本以外の国籍を有している方

日本以外の国籍を有している方は、出願登録をする前に入学広報課まで連絡してください。

不明な点がある場合は、入学広報課(0569-87-2212)までお問い合わせください。

社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格の取得を目指して 社会福祉学部への編転入学をお考えの皆様へ

社会福祉士国家試験受験資格について

社会福祉士国家試験受験資格の取得を目指して、2024年度に社会福祉学部へ編転入学される方が履修する実習(「ソーシャルワーク実習」)の概要は以下のとおりです。

1. 実習先選択について

社会福祉士国家試験受験資格の取得を希望する場合は「ソーシャルワーク実習」の履修が必須となります。その際、実習を行う施設について一定の制約がありますので、あらかじめご承知おきください。

- 1) 実習中に、複数回の巡回指導または帰校指導を行います。きめ細かな指導を円滑に受けていただくために、**実習は原則として愛知県内で行うことになります**ので、それ以外の地域(出身地域等)での実習はできません。
- 2) 「ソーシャルワーク実習」では、あらかじめ大学が指定する施設の中から配属先を決めます。結果として、希望分野に配属されない場合があります(例: 児童分野を希望するも、高齢者分野に決定など)、どの施設・分野で実習を行っても、ソーシャルワークの共通基盤と実践力を身につけることが可能なプログラムになっています。
- 3) 4年次配当科目の中に、「ソーシャルワーク専門実習」(社会福祉協議会、障害者地域生活支援センター等で実習)および「医療ソーシャルワーク実習」(病院、診療所等で実習)の2科目がありますが、**第3学年編転入学生の方は、4年次に社会福祉士国家試験受験資格のための実習である「ソーシャルワーク実習」が修了するため、それら2科目については履修することはできません。**
- 4) 上記3のとおり、第3学年編転入学生の方は、「ソーシャルワーク専門実習」「医療ソーシャルワーク実習」の履修はできませんが、関心のある分野、就職を志向している施設種別などに応じて、「課外実習」として取り組むことができます。(「課外実習」は正課科目ではなく単位は付与されません)

2. 実習施設の受入可能人数を超える学生が実習を希望する場合の調整について

実習施設の受入可能人数を超える学生からの実習希望があり、調整が必要な場合には、(例: 受入可能人数が2名の実習施設に、4名の学生が実習を希望している場合など)には、GPA(第3学年編転入学生は3年次前期までの累計)の上位者を優先して配属を決定することがあります。

3. その他

社会福祉士国家試験受験資格の取得に必要な実習・演習科目を履修するためには、履修規程に定める所定科目の単位修得や到達度確認テスト(CCCT)の合格等の要件を満たす必要があります。

精神保健福祉士国家試験受験資格について ※医療専修・人間福祉専修のみ

現在、社会福祉学部では、社会福祉士を「社会福祉の基礎的資格」として、精神保健福祉士を「積み上げの資格」として位置づけているため、**精神保健福祉士国家試験受験資格の取得を希望する場合には、社会福祉士国家試験受験資格の取得が前提となります。**

1. 2年次編転入学生のみが希望可能(3年次編転入学生は希望不可)

精神保健福祉士国家試験受験資格の取得については、社会福祉士国家試験受験資格の取得が前提となり、最短でも3年間を要しますので、2年次編転入学生のみが希望できます。

2. 社会福祉士国家試験受験資格の取得が前提(精神保健福祉士国家試験受験資格のみを選択して取得することは不可)

前述のとおり、精神保健福祉士国家試験受験資格を取得するためには、並行して、社会福祉士国家試験受験資格にかかる科目を履修する必要があります。そのため、**精神保健福祉士国家試験受験資格のみを選択して取得することはできません。**

3. その他

履修者選考のため、学内選考試験があります。

I 第2学年一般編転入学試験【前期日程・後期日程】

1 募集学部・学科・専修および募集定員

学部	学科	専修	編転入学年	定員	
				前期日程	後期日程
社会福祉学部	社会福祉学科	行政専修	第2学年	若干名	若干名
		子ども専修		若干名	若干名
		医療専修		若干名	若干名
		人間福祉専修		若干名	若干名
教育・心理学部	心理学科			若干名	若干名
スポーツ科学部	スポーツ科学科			若干名	若干名
健康科学部	福祉工学科	情報工学専修		若干名	若干名
		建築バリアフリー専修		若干名	若干名

※編転入学年は入学する学年です。

※募集学部・学科・専修のうち、同一学年の同一学部内であれば2出願まで可能です。

※同日に実施される本学の他の入学試験との併願はできません。

※他大学との併願は可能です。

2 出願資格等

	前期日程	後期日程
出願資格	転入学 新制大学に1年以上在学し、30単位以上を修得した者(見込み含む)	
	編入学 次のいずれかに該当する者(見込み含む) (1) 新制大学を卒業した者 (2) 短期大学を卒業した者 (3) 高等専門学校を卒業した者 (4) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上、総授業時数が1,700時間以上または62単位以上であるものに限る)を修了した者のうち学校教育法の規定により大学に編入学することができる者 (5) 修業年限が2年以上その他の文部科学大臣が定める基準を満たす高等学校専攻科を修了した者 (6) 外国において、正規の学校教育における通常の課程による14年の学校教育を修了した者 (7) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を国内において履修することにより当該外国の正規の学校教育における通常の課程による14年の学校教育を修了した者 (8) 国内において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の正規の学校教育における通常の課程による14年の学校教育を修了したとされる者に限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者 外国籍を有する者の場合は、上記に加えて、次のすべてを満たす者 (1) 日本国内での在留資格を有していない者は、本学入学の前までに日本国内での在留資格を取得できている者 (2) 本学入学時において満19歳に達している者 (3) 大学生活を送るのに十分な日本語能力を有し、次のいずれかに該当する者 ①日本語能力試験N2以上または2級(旧試験)以上取得者 ②所属する学校の長から①に定める基準値以上の日本語能力があると判断され、証明・推薦を受けられることができる者 (4) 日本において、卒業までの大学生活を送るために十分な経費支弁の見通しがある者 ※各省庁設置の大学校から大学への編入学は認められません。	
出願期間	インターネット出願登録期間 2023年9月22日(金)午前9時～10月4日(水)午前10時まで 入学検定料払い込み期限/10月4日(水)午後1時まで 出願書類提出期限/10月6日(金)午後5時必着	インターネット出願登録期間 2024年1月18日(木)午前9時～1月31日(水)午前10時まで 入学検定料払い込み期限/1月31日(水)午後1時まで 出願書類提出期限/2月2日(金)午後5時必着
試験日	2023年10月22日(日) 予備日程で実施する場合は 10月29日(日)	2024年2月10日(土)
試験内容	小論文(100分/100点満点)10:00～11:40	
試験会場	日本福祉大学 美浜キャンパス	日本福祉大学 東海キャンパス
合否結果発表日	2023年11月1日(水) 予備日程で実施した場合は 11月10日(金)	2024年2月24日(土)
	※合否結果通知は、合否結果発表日に本人宛に速達で発送しますので、お手元に届くのは合否結果発表日の翌日以降となります。	
合否結果照会サービスシステム*利用可能期間	2023年11月1日(水)午前9時～11月2日(木)午後5時まで 予備日程で実施した場合は 11月10日(金)午前9時～11月11日(土)午後5時まで	2024年2月24日(土)午前9時～2月25日(日)午後5時まで

*「合否結果照会サービスシステム」とは、合否結果をインターネットで照会できるサービスです。詳細は、別冊子「各入学試験 共通事項」のP.6、7を参照してください。

Ⅱ 第2学年日本福祉大学中央福祉専門学校推薦編入学試験

1 募集学部・学科・専修および募集定員

学部	学科	専修	編入学年	定員
社会福祉学部	社会福祉学科	行政専修	第2学年	若干名
		子ども専修		若干名
		医療専修		若干名
		人間福祉専修		若干名
教育・心理学部	心理学科			若干名
スポーツ科学部	スポーツ科学科			若干名
健康科学部	福祉工学科	情報工学専修		若干名
		建築バリアフリー専修		若干名

※編入学年は入学する学年です。

※併願不可。

2 出願資格等

出願資格	次のすべてを満たす者 (1) 日本福祉大学中央福祉専門学校介護福祉士科を2024年3月卒業見込みの者で、人物および学力ともに優れ、本学で積極的に学ぶ意欲を有し、学校長の推薦を受けた者 (2) 本学を専願とする者(合格者は必ず入学していただきます)
出願期間	インターネット出願登録期間 2023年11月1日(水)午前9時～11月9日(木)午前10時まで 入学検定料払い込み期限/11月9日(木)午後1時まで 出願書類提出期限/11月10日(金)午後5時必着 出願登録には所定のパスワードが必要です。 パスワードは、推薦書と一緒に日本福祉大学中央福祉専門学校の担当者より受け取ってください。
試験日	2023年11月19日(日)
試験内容	1. 本学教員による講義受講 10:00～11:30 2. レポート作成 12:30～13:30 ※講義内容に関する理解等を中心に1,000字程度で執筆していただきます。 3. オリエンテーション 13:30～14:00(学部により、終了時間は異なります) ※受講態度や作成されたレポートの内容等により、オリエンテーション終了後、面談をする場合があります。
試験会場	日本福祉大学 美浜キャンパス
合否結果発表日	2023年12月7日(木) ※合否結果通知は、合否結果発表日に本人宛に速達で発送しますので、お手元に届くのは合否結果発表日の翌日以降となります。

Ⅲ 第3学年一般編転入学試験【前期日程・後期日程】

1 募集学部・学科・専修および募集定員

学部	学科	専修	編転入学年	定員	
				前期日程	後期日程
社会福祉学部	社会福祉学科	行政専修	第3学年	2名	若干名
		子ども専修		4名	若干名
		医療専修		7名	若干名
		人間福祉専修		7名	若干名
健康科学部	福祉工学科	情報工学専修		若干名	若干名
		建築ハリアフリー専修		若干名	若干名
経済学部	経済学科			若干名	若干名
国際福祉開発学部	国際福祉開発学科			若干名	若干名

※編転入学年は入学する学年です。

※募集学部・学科・専修のうち同一学年の同一学部内であれば2出願まで可能です。

※同日に実施される本学の他の入学試験との併願はできません。

※他大学との併願は可能です。

2 出願資格等

	前期日程	後期日程
出願資格	転入学 新制大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者(見込み含む)	
	編入学 次のいずれかに該当する者(見込み含む) (1) 新制大学を卒業した者 (2) 短期大学を卒業した者 (3) 高等専門学校を卒業した者 (4) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上、総授業時数が1,700時間以上または62単位以上であるものに限る)を修了した者のうち学校教育法の規定により大学に編入学することができる者 (5) 修業年限が2年以上その他の文部科学大臣が定める基準を満たす高等学校専攻科を修了した者 (6) 外国において、正規の学校教育における通常の課程による14年の学校教育を修了した者 (7) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を国内において履修することにより当該外国の正規の学校教育における通常の課程による14年の学校教育を修了した者 (8) 国内において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の正規の学校教育における通常の課程による14年の学校教育を修了したとされる者に限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者 健康科学部福祉工学科の3年次編転入学に出願する場合は、上記に加えて次のすべてを満たす者 (1) 情報または建築に関連がある系列の学部・学科に在籍しているまたは在籍していたこと (2) 本学教員と最低1回の面談を受けた者 ※認定単位数および内容を勘案して2年次とする場合があります。 外国籍を有する者の場合は、上記に加えて、次のすべてを満たす者 (1) 日本国内での在留資格を有していない者は、本学入学の前までに日本国内での在留資格を取得できている者 (2) 本学入学時において満20歳に達している者 (3) 大学生活を送るのに十分な日本語能力を有し、次のいずれかに該当する者 ①日本語能力試験N2以上または2級(旧試験)以上取得者 ②所属する学校の長から①に定める基準値以上の日本語能力があると判断され、証明・推薦を受けることができる者 (4) 日本において、卒業までの大学生活を送るために十分な経費支弁の見通しがある者 ※各省庁設置の大学から大学への編入学は認められません。	
出願期間	インターネット出願登録期間 2023年9月22日(金)午前9時～10月4日(水)午前10時まで 入学検定料払い込み期限/10月4日(水)午後1時まで 出願書類提出期限/10月6日(金)午後5時必着	インターネット出願登録期間 2024年1月18日(木)午前9時～1月31日(水)午前10時まで 入学検定料払い込み期限/1月31日(水)午後1時まで 出願書類提出期限/2月2日(金)午後5時必着
試験日	2023年10月22日(日) 予備日程で実施する場合は 10月29日(日)	2024年2月10日(土)
試験内容	小論文(100分/100点満点)10:00～11:40	
試験会場	日本福祉大学 美浜キャンパス	日本福祉大学 東海キャンパス
合否結果発表日	2023年11月1日(水) 予備日程で実施した場合は 11月10日(金)	2024年2月24日(土)
	※合否結果通知は、合否結果発表日に本人宛に速達で発送しますので、お手元に届くのは合否結果発表日の翌日以降となります。	
合否結果照会サービスシステム*利用可能期間	2023年11月1日(水)午前9時～11月2日(木)午後5時まで 予備日程で実施した場合は 11月10日(金)午前9時～11月11日(土)午後5時まで	2024年2月24日(土)午前9時～2月25日(日)午後5時まで

*「合否結果照会サービスシステム」とは、合否結果をインターネットで照会できるサービスです。詳細は、別冊子「各入学試験 共通事項」のP.6、7を参照してください。

Ⅳ 第3学年指定校推薦編入学試験【前期日程・後期日程】

1 募集学部・学科・専修および募集定員

学部	学科	専修	編入学年	定員	
				前期日程	後期日程
社会福祉学部	社会福祉学科	行政専修	第3学年	2名	若干名
		子ども専修		2名	若干名
		医療専修		3名	若干名
		人間福祉専修		3名	若干名
健康科学部	福祉工学科	情報工学専修		若干名	若干名
		建築バリアフリー専修		若干名	若干名
経済学部	経済学科			若干名	若干名
国際福祉開発学科	国際福祉開発学科			若干名	若干名

※編入学年は入学する学年です。

※併願不可。

2 出願資格等

	前期日程	後期日程
出願資格	<p>次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)に該当する者</p> <p>(1) 本学が指定する短期大学等を2024年3月卒業見込みの者で、本学で積極的に学ぶ意欲を有し、人物および学力ともに優れ、学(校)長の推薦を受けた者</p> <p>(2) 本学が指定する専修学校の専門課程(修業年限が2年以上、総授業時数が1,700時間以上または62単位以上であるものに限る)を2024年3月修了見込みの者のうち学校教育法の規定により大学に編入することができる者で、本学で積極的に学ぶ意欲を有し、人物および学力ともに優れ、学(校)長の推薦を受けた者</p> <p>(3) 本学が指定する修業年限が2年以上その他の文部科学大臣が定める基準を満たす高等学校専攻科を修了した者</p> <p>(4) 本学を専願とする者(合格者は必ず入学していただきます)</p> <p>健康科学部福祉工学科の3年次指定校編入学に出願する場合は、上記に加えて、次のすべてを満たす者</p> <p>(1) 情報または建築に関連がある系列の学部・学科に在籍しているまたは在籍していたこと</p> <p>(2) 本学教員と最低1回の面談を受けた者</p> <p>※認定単位数および内容を勘案して2年次とする場合があります。</p>	
出願期間	<p>インターネット出願登録期間 2023年11月1日(水)午前9時～11月9日(木)午前10時まで</p> <p>入学検定料払い込み期限/11月9日(木)午後1時まで 出願書類提出期限/11月10日(金)午後5時必着</p>	<p>インターネット出願登録期間 2024年2月23日(金)午前9時～3月6日(水)午前10時まで</p> <p>入学検定料払い込み期限/3月6日(水)午後1時まで 出願書類提出期限/3月7日(木)午後5時必着</p>
	<p>出願登録には所定のパスワードが必要です。 パスワードは、推薦書と一緒に各学校の担当者より受け取ってください。</p>	
試験日	2023年11月19日(日)	2024年3月10日(日)
試験内容	<p>1. 本学教員による講義受講 10:00～11:30</p> <p>2. レポート作成 12:30～13:30</p> <p>※講義内容に関する理解等を中心に1,000字程度で執筆していただきます。</p> <p>3. オリエンテーション 13:30～14:00(学部により、終了時間は異なります)</p> <p>※受講態度や作成されたレポートの内容等により、オリエンテーション終了後、面談をする場合があります。</p>	
試験会場	日本福祉大学 美浜キャンパス	日本福祉大学 東海キャンパス
合否結果発表日	2023年12月7日(木)	2024年3月16日(土)
	<p>※合否結果通知は、合否結果発表日に本人宛に速達で発送しますので、お手元に届くのは合否結果発表日の翌日以降となります。</p>	

V 第3学年日本福祉大学中央福祉専門学校推薦編入学試験

1 募集学部・学科・専修および募集定員

学部	学科	専修	編入学年	定員
		行政専修		
子ども専修	2名			
医療専修	3名			
人間福祉専修	3名			
経済学部	経済学科			若干名
国際福祉開発学部	国際福祉開発学科			若干名

※編入学年は入学する学年です。

※併願不可。

2 出願資格等

出願資格	次のすべてを満たす者 (1) 日本福祉大学中央福祉専門学校介護福祉士科を2024年3月卒業見込みの者で、人物および学力ともに優れ、本学で積極的に学ぶ意欲を有し、学校長の推薦を受けた者 (2) 本学を専願とする者(合格者は必ず入学していただきます)
出願期間	インターネット出願登録期間 2023年11月1日(水)午前9時～11月9日(木)午前10時まで 入学検定料払い込み期限/11月9日(木)午後1時まで 出願書類提出期限/11月10日(金)午後5時必着 出願登録には所定のパスワードが必要です。 パスワードは、推薦書と一緒に日本福祉大学中央福祉専門学校の担当者より受け取ってください。
試験日	2023年11月19日(日)
試験内容	1. 本学教員による講義受講 10:00～11:30 2. レポート作成 12:30～13:30 ※講義内容に関する理解等を中心に1,000字程度で執筆していただきます。 3. オリエンテーション 13:30～14:00(学部により、終了時間は異なります) ※受講態度や作成されたレポートの内容等により、オリエンテーション終了後、面談をする場合があります。
試験会場	日本福祉大学 美浜キャンパス
合否結果発表日	2023年12月7日(木) ※合否結果通知は、合否結果発表日に本人宛に速達で発送しますので、お手元に届くのは合否結果発表日の翌日以降となります。

VI 第3学年同窓会推薦編転入学試験【前期日程・後期日程】

1 募集学部・学科・専修および募集定員

学部	学科	専修	編転入学年	定員	
				前期日程	後期日程
社会福祉学部	社会福祉学科	行政専修	第3学年	若干名	若干名
		子ども専修		若干名	若干名
		医療専修		若干名	若干名
		人間福祉専修		若干名	若干名
健康科学部	福祉工学部	情報工学専修		若干名	若干名
		建築バリアフリー専修		若干名	若干名
経済学部	経済学科			若干名	若干名
国際福祉開発学部	国際福祉開発学科			若干名	若干名

※編転入学年は入学する学年です。

※募集学部・学科・専修のうち同一学部内であれば2出願まで可能です。

※同日に実施される本学の他の入学試験との併願はできません。

※他大学との併願は可能です。

2 出願資格等

		前期日程	後期日程
出願資格	転入学	以下に該当する者(見込み含む) (1) 新制大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者 (2) 日本福祉大学同窓会正会員・準会員または、正会員・準会員の配偶者または、正会員・準会員およびその配偶者の2親等以内の者で、同窓会本部から推薦を受けた者	
	編入学	次の(1)～(8)のいずれか(見込み含む)に該当し、かつ(9)に該当する者 (1) 新制大学を卒業した者 (2) 短期大学を卒業した者 (3) 高等専門学校を卒業した者 (4) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上、総授業時数が1,700時間以上または62単位以上であるものに限る)を修了した者のうち学校教育法の規定により大学に編入学することができる者 (5) 修業年限が2年以上その他の文部科学大臣が定める基準を満たす高等学校専攻科を修了した者 (6) 外国において、正規の学校教育における通常の課程による14年の学校教育を修了した者 (7) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を国内において履修することにより当該外国の正規の学校教育における通常の課程による14年の学校教育を修了した者 (8) 国内において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の正規の学校教育における通常の課程による14年の学校教育を修了したとされる者に限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者 (9) 日本福祉大学同窓会正会員・準会員または、正会員・準会員の配偶者または、正会員・準会員およびその配偶者の2親等以内の者で、同窓会本部から推薦を受けた者 健康科学部福祉工学科の3年次編転入学に出願する場合は、上記に加えて次のすべてを満たす者 (1) 情報または建築に関連がある系列の学部・学科に在籍しているまたは在籍していたこと (2) 本学教員と最低1回の面談を受けた者 ※認定単位数および内容を勘案して2年次とする場合があります。 外国籍を有する者の場合は、上記に加えて、次のすべてを満たす者 (1) 日本国内での在留資格を有していない者は、本学入学の前までに日本国内での在留資格を取得できている者 (2) 本学入学時において満20歳に達している者 (3) 大学生活を送るのに十分な日本語能力を有し、次のいずれかに該当する者 ①日本語能力試験N2以上または2級(旧試験)以上取得者 ②所属する学校の長から①に定める基準値以上の日本語能力があると判断され、証明・推薦を受けることができる者 (4) 日本において、卒業までの大学生活を送るために十分な経費支弁の見通しがある者 ※各省庁設置の大学校から大学への編入学は認められません。	
出願期間		インターネット出願登録期間 2023年9月22日(金)午前9時～10月4日(水)午前10時まで 入学検定料払い込み期限/10月4日(水)午後1時まで 出願書類提出期限/10月6日(金)午後5時必着	インターネット出願登録期間 2024年1月18日(木)午前9時～1月31日(水)午前10時まで 入学検定料払い込み期限/1月31日(水)午後1時まで 出願書類提出期限/2月2日(金)午後5時必着
試験日		2023年10月22日(日) 予備日程で実施する場合は 10月29日(日)	2024年2月10日(土)
試験内容	小論文(100分/100点満点)10:00～11:40		
試験会場	日本福祉大学 美浜キャンパス	日本福祉大学 東海キャンパス	
合否結果発表日	2023年11月1日(水) 予備日程で実施した場合は 11月10日(金)	2024年2月24日(土)	
	※合否結果通知は、合否結果発表日に本人宛に速達で発送しますので、お手元に届くのは合否結果発表日の翌日以降となります。		
合否結果照会サービスシステム*利用可能期間	2023年11月1日(水)午前9時～11月2日(木)午後5時まで 予備日程で実施した場合は 11月10日(金)午前9時～11月11日(土)午後5時まで	2024年2月24日(土)午前9時～2月25日(日)午後5時まで	

*「合否結果照会サービスシステム」とは、合否結果をインターネットで照会できるサービスです。詳細は、別冊子「各入学試験 共通事項」のP.6、7を参照してください。

VII 編転入学後の単位認定・資格取得について

1 単位認定について

日本福祉大学では、卒業にあたり 124 単位以上 (各学部より詳細条件あり) を修得する必要がありますが、従前の大学・短大・専門学校等で修得した単位を本学の学部で修得したものと認定を受けることができます。認定には所定の申請書の提出が必要です。

各種資格の取得を希望する方は、「2 編転入学後の資格取得について」(P. 15) をご覧ください。

単位認定のしくみ

下記の上限を超えて資格に関する卒業単位に算入しない科目の認定が可能です。

「包括認定」とは、編入学または転入学したことにより、一括して認定される単位のこと、卒業条件の単位区分においては、総合基礎科目に属します。

	学部/学科	認定上限	認定単位の内訳
3 年次	社会福祉学部 経済学部 国際福祉開発学部	60 単位	総合基礎科目の包括認定 (上限 60 単位) + 総合基礎科目・専門基礎科目・専門科目の科目別認定 (上限 60 単位)
	健康科学部 福祉工学科	75 単位	総合基礎科目の包括認定 (上限 48 単位) + 総合基礎科目・専門基礎科目・専門科目の科目別認定 (上限 75 単位)
2 年次	社会福祉学部 教育・心理学部 心理学科 スポーツ科学部 スポーツ科学科 健康科学部 福祉工学科	48 単位	総合基礎科目の包括認定 (各学部の認定上限まで) + 総合基礎科目・専門基礎科目・専門科目の科目別認定 (各学部の認定上限まで)

科目別認定について

対象科目は、入学する学部の開講科目と同一科目(単位)、または内容に類似性が認められる科目に限られます。科目別認定は入学時に申請を行います。その際、内容に類似性があると判断できるような講義資料(従前の大学・短大・専門学校のシラバス)が別途必要になります。

※健康科学部 福祉工学科では、以下の履修の前提条件が定められており、この前提条件を満たさないと履修ができない科目があります。なお、前提条件科目の科目別認定が行われた場合は、履修前提条件を満たしたことになります。条件について不明な点があれば、半田事務室(0569-20-0111)にお問合せください。

■履修の前提条件<2021年度以降入学生に適用>

	科目名	履修の前提条件
情報工学専修	プログラミング演習Ⅱ	「プログラミング演習Ⅰ」の単位修得済み、または、同時履修
	福祉用具プランニング演習Ⅰ	「リハビリテーション工学」の単位修得済み、または、同時履修
	福祉用具プランニング演習Ⅱ	「住環境整備・住宅関連機器」の単位修得済み、または、同時履修
	健康情報総合演習Ⅰ	「データ構造とアルゴリズムⅠ」の単位修得済み
	健康情報総合演習Ⅱ	「福祉用具プランニング演習Ⅱ」の単位取得済み、または、同時履修
	人工知能Ⅰ	「情報数学Ⅰ」および「情報数学Ⅱ」の単位修得済み、または、同時履修
	人工知能Ⅱ	「人工知能Ⅰ」の単位修得済み、または、同時履修
卒業研究Ⅱ	以下の要件を満たすこと 1) 以下の科目(合計26単位)のうち18単位以上修得 「情報数学Ⅰ(2単位)」「情報数学Ⅱ(2単位)」「人工知能Ⅰ(2単位)」「基礎数学Ⅱ(2単位)」「リハビリテーション論(2単位)」「プログラミング演習Ⅱ(2単位)」「コンピュータシステムⅠ(2単位)」「コンピュータシステムⅡ(2単位)」「データ構造とアルゴリズムⅠ(2単位)」「力学基礎(2単位)」「リハビリテーション工学(2単位)」「データベース(2単位)」「情報ネットワーク(2単位)」 2) 以下の科目の修得 ・3年次編転入生以外 「基礎演習」「情報処理」「健康情報演習A」「健康情報演習B」「プログラミング演習Ⅰ」「情報工学入門」「福祉用具論」「卒業研究Ⅰ」 ・3年次編転入生 「卒業研究Ⅰ」 ※「基礎演習」「情報処理」「健康情報演習A」「健康情報演習B」「プログラミング演習Ⅰ」「情報工学入門」「福祉用具論」は3年次全員履修科目とする。	
建築バリアフリー専修	卒業研究Ⅱ	「卒業研究Ⅰ」および「二級建築士・木造建築士受験資格」取得に関する履修内規の別表(P14)に定める科目のうち、二級建築士免許登録要件(実務経験0年)に必要な科目(40単位以上)の修得

※「二級建築士・木造建築士受験資格」取得に関する履修内規の別表
(指定科目の分類別に定める単位数以上かつ合計40単位以上)

指定科目の分類 (必要単位数)	本学の開講科目		
	科目名	単位	学年 配当
二級・木造			
建築設計製図(3単位以上)	建築CAD演習	2	2
	建築設計演習Ⅰ	4	2
	建築設計演習Ⅱ	4	2
	エコロジカル建築設計演習	4	3
	福祉環境設計演習	4	3
建築計画、建築環境工学又は建築設備 (2単位以上)	建築学概論	2	1
	建築計画Ⅰ	2	1
	建築計画Ⅱ	2	2
	建築人間工学	2	2
	建築ユニバーサルデザイン論	2	2
	都市計画論	2	2
	福祉住環境計画	2	3
	建築防災計画	2	3
	建築環境工学	2	3
	建築設備	2	3
構造力学、建築一般構造又は建築材料 (3単位以上)	建築構造力学	2	2
	建築構造力学応用	2	2
	建築一般構造	2	3
	建築一般構造応用	2	3
	建築材料Ⅰ	2	1
	建築材料Ⅱ	2	2
建築生産(1単位以上)	建築生産	2	2
建築法規(1単位以上)	建築法規	2	2
その他	建築デザイン入門	2	1
	建築図学	2	1
	建築製図演習	4	1
	建築デザイン表現演習	2	2
	建築測量実習	2	2
	都市景観生態学	2	2
	エコロジカル建築	2	2
	環境共生のまちづくり	2	3
	都市緑化論	2	3

2 編転入学後の資格取得について

資格取得条件 ※下記資格にかかわる法令の変更により、資格取得条件が変わる場合があります。

I 社会福祉士国家試験受験資格 社会福祉学部

- ①本学在学期間中に、厚生労働省指定科目をすべて修得する必要があります。
- ②厚生労働省指定科目のうち、「相談援助実習」および「相談援助実習指導」「相談援助演習」に該当する科目を履修するためには、入学後の履修要件を満たす必要があります。
- ③すでに、他の教育機関で厚生労働省指定科目の単位を修得されている方は、入学時に、既修得単位として申請することが可能です。
- ④社会福祉学部における配属実習を伴う資格の併修はできません。
- ⑤「相談援助実習」に該当する実習は、4週間集中して実施します。

II 一級建築士・二級建築士・木造建築士国家試験受験資格 健康科学部 福祉工学科 建築バリアフリー専修

- ①一級建築士・二級建築士・木造建築士受験資格を取得するためには、本学規程に基づき、所定科目の単位を修得する必要があります。
- ②建築士免許の登録には、卒業後、資格関連科目の取得単位数に応じた実務経験年数が必要です。

III 精神保健福祉士国家試験受験資格 社会福祉学部 社会福祉学科 医療専修・人間福祉専修2年次

- ①本学在学期間中に、厚生労働省指定科目をすべて修得する必要があります。
- ②厚生労働省指定科目のうち、「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ・Ⅱ」および「精神保健福祉援助演習Ⅰ・Ⅱ」、「精神保健福祉援助実習」を履修するためには、入学後に行われる「選考試験」に合格する必要があります。

3 取得できる資格

3 年次編転入学者

	資格名	取得できる学部、学科/専修							
		社会福祉学部				健康科学部		経済学部	国際福祉開発学部
		社会福祉学科				福祉工学科			
		行政専修	子ども専修	医療専修	人間福祉専修	情報工学専修	建築バリアフリー専修		
所定科目の修得が必要な資格	社会福祉士 国家試験受験資格	○*	○*	○*	○*	×	×	×	×
	一級建築士・二級建築士・ 木造建築士国家試験受験資格	×	×	×	×	×	○*	×	×

○：取得可能 ×：取得不可

* 資格取得に際して選考等の制限が入る場合があります。

* 従前大学の単位取得状況によっては、2年間で社会福祉士国家試験受験資格、一級建築士の取得を保証するものではありません。

* 履修登録単位上限により、履修状況によっては2年間で社会福祉士国家試験受験資格、一級建築士の取得を保証するものではありません。

2 年次編転入学者

	資格名	取得できる学部、学科/専修							
		社会福祉学部				健康科学部		教育・心理学部	スポーツ科学部
		社会福祉学科				福祉工学科		心理学科	スポーツ科学科
		行政専修	子ども専修	医療専修	人間福祉専修	情報工学専修	建築バリアフリー専修		
所定科目の修得が必要な資格	社会福祉士 国家試験受験資格	○*1	○*1	○*1	○*1	×	×	×	×
	精神保健福祉士 国家試験受験資格	×	×	○*3	○*3	×	×	×	×
	一級建築士・二級建築士・ 木造建築士国家試験受験資格	×	×	×	×	×	○	×	×
	スクールソーシャルワーカー教育課程	×	○*5	×	×	×	×	×	×
	認定心理士	×	×	×	×	×	×	○*4	×
	初級バラスポート指導員	○*2	○*2	○*2	○*2	×	×	○*2	○
	中級バラスポート指導員	×	×	×	×	×	×	×	○*6
	レクリエーションインストラクター・ キャンプインストラクター	×	×	×	×	×	×	×	○*6
健康運動実践指導者・ 健康運動指導士・ スポーツプログラマー・ アシスタントマネジャー・ 日本スポーツ協会共通科目Ⅲ	×	×	×	×	×	×	×	○*7	

○：取得可能 ×：取得不可

*1 資格取得に際して選考等の制限が入る場合があります。従前大学の単位取得状況によっては、3年間で社会福祉士国家試験受験資格の取得を保証するものではありません。

*2 指定科目の履修にあたり人数制限があります。

*3 資格取得に際して選考があります。従前大学の単位取得状況によっては、3年間で精神保健福祉士国家試験受験資格の取得を保証するものではありません。

*4 資格取得対応科目を本学科で修得(編転入前に修得した単位の科目別認定は不可)し、申請することを前提とします。

*5 資格取得に際して選考等の制限が入る場合があります。スクールソーシャルワーカー教育課程認定は社会福祉士に合格しなければなりません。この教育課程単一での取得はできません。

*6 資格対応科目を本学科で修得し、申請することを前提とします。

*7 資格対応科目を本学科で修得し、認定団体が実施する試験に合格することを前提とします。

VIII 各入学試験共通事項

1 出願書類

第2学年編転入出願書類

○印は全員提出、△印は該当者のみ提出すること。

入学検定料を支払い後、下記の書類を同封し入学広報課まで送付してください。

書 類 名	一 般		中央福祉専門学校推薦 日本福祉大学	注 意 事 項
	転入学	編入学		
① 出願確認票(提出用)	○	○	○	出願登録し、入学検定料を支払い後、印刷してください。 印刷後、個人情報に関わる項目(氏名、住所、電話番号など)に誤りがある場合は、赤のボールペンで二重線を引き訂正印を押印のうえ、正しい内容を記入してください。ただし、入学試験に関わる項目(出願学部・学科・専攻・専修など)は、訂正印での修正はできませんので、入学広報課まで問い合わせてください。 写真は、正面・上半身・無帽・背景無地のもので3カ月以内に撮影した、縦4cm横3cmのものを使用してください。写真裏面に整理番号、氏名を記入後、「写真票」の所定欄へ貼付してください。
② 写真票	○	○	○	
③ 提出書類チェックシート	○	○	○	
④ 成績証明書 (厳封したもの)	○	○	○	出願時より3カ月以内に作成・厳封したものを提出してください。 学(校)長の証明があるもので、既修得科目全部の成績及び単位数(時間数)を明記し、在学履修中の者は、その科目名と単位数(時間数)を記入してください。結婚等で現在の姓が調査書記載の姓より変更されている者は姓変更を証明できる資料(戸籍抄本等)を提出してください。 併願する場合でも1通のみの提出で結構です。
⑤ 卒業(見込)証明書		○	○	新制大学・短期大学(通信制含む)・高等専門学校・専修学校の専門課程等を卒業(見込み)の者が提出してください。 併願する場合でも1通のみの提出で結構です。
⑥ 在学証明書 在学期間証明書 (該当者のみ)	○			大学に1年以上在学(見込み)の者が提出してください。 以下に該当する者は、転入前の大学に1年以上在学したことが証明できる書類も提出してください。(在学期間には、休学期間は含まれません) ①大学を中途退学し、転入する者 ②出願当初、大学を卒業して編入する予定だった者が、中途退学した場合 併願する場合でも1通のみの提出で結構です。 ※書類は、転入前の大学の様式で構いません。
⑦ 志望動機書 (本学所定用紙：別紙-1)	○	○	○	必ず横書きで記入してください。 誤字・脱字や文字の不鮮明がないように注意してください。 志望学部・学科・専修ごとにそれぞれ1枚(800字以内)提出してください。
⑧ 経歴書 (本学所定用紙：別紙-2)	○	○		アルバイトでも、雇用契約がされているものであれば記入できます。 併願する場合でも1通のみの提出で結構です。
⑨ 推薦書 (本学所定用紙：別紙-3)			○	推薦書は、日本福祉大学中央福祉専門学校から発行されます。 厳封したものを提出してください。 「特記事項」は、特に記入することがなければ未記入で構いません。
⑩ 大学編入学有資格証明書 (本学所定用紙：別紙-5)			△*1	専修学校の専門課程を修了(見込み)の者が提出してください。 併願する場合でも1通のみの提出で結構です。
⑪ 高等学校専攻科修了証明書 (本学所定用紙：別紙-6)			△*2	高等学校専攻科の課程を修了(見込み)の者が提出してください。 併願する場合でも1通のみの提出で結構です。

*1：一般編転入学試験の編入学出願資格(4)に該当する者。

*2：一般編転入学試験の編入学出願資格(5)に該当する者。

※提出書類への記入は、黒のボールペンを使用してください。(鉛筆、フリクションペン等消えるものは不可)

記入後の訂正は、注意事項にとくに断りがない限り、修正ペンや修正テープを使用するか、赤のボールペンで二重線を引き訂正印を押印のうえ、正しい内容を記入してください。

第3学年編転入出願書類

○印は全員提出、△印は該当者のみ提出すること。
入学検定料を支払い後、下記の書類を同封し入学広報課まで送付してください。

書類名	一般		指定校推薦	中央福祉専門学校 日本福祉大学 学校推薦	同窓会推薦		注意事項
	転入学	編入学			転入学	編入学	
① 出願確認票(提出用)	○	○	○	○	○	○	出願登録し、入学検定料を支払い後、印刷してください。 印刷後、個人情報に関わる項目(氏名、住所、電話番号など)に誤りがある場合は、赤のボールペンで二重線を引き訂正印を押印のうえ、正しい内容を記入してください。
② 写真票	○	○	○	○	○	○	ただし、入学試験に関わる項目(出願学部・学科・専攻・専修など)は訂正印での修正はできませんので、入学広報課まで問い合わせてください。
③ 提出書類チェックシート	○	○	○	○	○	○	写真は、正面・上半身・無帽・背景無地のもので3カ月以内に撮影した、縦4cm横3cmのものを使用してください。写真裏面に整理番号、氏名を記入後、「写真票」の所定欄へ貼付してください。
④ 本学教員との事前面談確認票のコピー	△*7	△*7	△*8		△*9	△*9	事前面談の際に受け取った、あるいは面談後に郵送された事前面談確認票を、A4サイズの紙にコピーして、提出してください。 手元にない場合は、入学広報課に連絡してください。
⑤ 成績証明書(厳封したもの)	○	○	○	○	○	○	出願時より3カ月以内に作成・厳封したものを提出してください。 学(校)長の証明があるもので、既修得科目全部の成績及び単位数(時間数)を明記し、在学履修中の者は、その科目名と単位数(時間数)を記入してください。 結婚等で現在の姓が調査書記載の姓より変更されている者は姓変更を証明できる資料(戸籍抄本等)を提出してください。
⑥ 卒業(見込)証明書		○	○	○		○	新制大学・短期大学(通信制含む)・高等専門学校・専修学校の専門課程等を卒業(見込み)の者が提出してください。 併願する場合でも1通のみの提出で結構です。
⑦ 在学証明書 在学期間証明書 (該当者のみ)	○				○		大学に2年以上在学(見込み)の者が提出してください。 以下に該当する者は、転入前の大学に2年以上在学したことが証明できる書類も提出してください。 (在学期間には、休学期間は含まれません) ①大学を中途退学し、転入する者 ②出願当初、大学を卒業して編入する予定だった者が、中途退学した場合 併願する場合でも1通のみの提出で結構です。 ※書類は、転入前の大学の様式で構いません。
⑧ 志望動機書 (本学所定用紙：別紙-1)	○	○	○	○	○	○	必ず横書きで記入してください。 誤字・脱字や文字の不鮮明がないように注意してください。 志望学部・学科・専修ごとにそれぞれ1枚(800字以内)提出してください。
⑨ 経歴書 (本学所定用紙：別紙-2)	○	○			○	○	アルバイトでも、雇用契約がされているものであれば記入できます。 併願する場合でも1通のみの提出で結構です。
⑩ 推薦書 (本学所定用紙：別紙-3)			○	○			推薦書は、推薦いただく各学校から発行されます。 厳封したものを提出してください。「特記事項」は、特に記入することがなければ未記入で構いません。
⑪ 同窓会推薦書 (本学所定用紙：別紙-4)					○	○	同窓会への推薦依頼は入学広報課から行いますので、必要事項を記入し出願書類とともに送付してください。 併願する場合でも1通のみの提出で結構です。
⑫ 大学編入学有資格証明書 (本学所定用紙：別紙-5)		△*1	△*3			△*5	専修学校の専門課程を修了(見込み)の者が提出してください。 併願する場合でも1通のみの提出で結構です。
⑬ 高等学校専攻科修了証明書 (本学所定用紙：別紙-6)		△*2	△*4			△*6	高等学校専攻科の課程を修了(見込み)の者が提出してください。 併願する場合でも1通のみの提出で結構です。

*1：一般編転入学試験の編入学出願資格(4)に該当する者。
*2：一般編転入学試験の編入学出願資格(5)に該当する者。
*3：指定校推薦編入学試験の出願資格(2)に該当する者。
*4：指定校推薦編入学試験の出願資格(3)に該当する者。

*5：同窓会推薦編転入学試験の編入学出願資格(4)に該当する者。
*6：同窓会推薦編転入学試験の編入学出願資格(5)に該当する者。
*7：一般編転入学試験で健康科学部福祉工学科に出願する者。
*8：指定校推薦編入学試験で健康科学部福祉工学科に出願する者。
*9：同窓会推薦編転入学試験で健康科学部福祉工学科に出願する者。

※提出書類への記入は、黒のボールペンを使用してください。(鉛筆、フリクションペン等消えるものは不可)
記入後の訂正は、注意事項にとくに断りが無い限り、修正ペンや修正テープを使用するか、赤のボールペンで二重線を引き訂正印を押印のうえ、正しい内容を記入してください。

編転入(外国人留学生用)出願書類

外国人留学生は、下記の書類を、編転入学試験の出願書類と一緒に必ず提出してください。

○は全員提出、△は該当者のみ提出すること。

入学検定料を支払い後、下記の書類を編転入学試験の出願書類と一緒に入学広報課まで送付してください。

書類名		注意事項
①在留カードのコピー (本学所定用紙：別紙-7に貼付)	○	表面・裏面をコピーし提出してください。
②パスポートのコピー (本学所定用紙：別紙-8に貼付)	○	写真のページのカラーコピーを貼り付けて提出してください。
③日本語能力試験成績通知書 *1	△	留学生の出願資格(3)の①に該当する者は提出してください。(原本またはコピー)未受験の場合は受験票のコピーを本学所定用紙：別紙-9に貼り付けて提出してください。 受験票のコピーを提出した者は、結果が届き次第、入学広報課まで成績通知書の提出が必要です。 その結果が本学の出願資格を満たさない場合には、合格が取り消されます。
④日本語能力証明書 (本学所定用紙：別紙-10)	△	留学生の出願資格(3)の②に該当する者は提出してください。
⑤収支計画・希望進路記入表 (本学所定用紙：別紙-11) *2	○	必ず本人が記入してください。 学費は1年目の学費(約70万円)を想定して、月額で算出してあります。

出願書類作成時の注意

*1 原本を提出の場合は確認後、返却します。

また、コピーを提出する場合は、そのコピーが原本と相違ないことを日本語学校など公的な機関で証明してもらう必要があります。

*2 日本語または英語以外で作成・記入された書類は、必ず日本語訳または英語訳を付けて提出してください。

※提出書類への記入は、黒のボールペンを使用してください。(鉛筆、フリクションペン等消えるものは不可)

記入後の訂正は、注意事項にとくに断りがない限り、修正ペンや修正テープを使用するか、赤のボールペンで二重線を引き、正しい内容を記入してください。

2 出願上の注意

- (1) 本人の申請により、従前の教育機関で修得した既修得科目・単位を新しい教育機関で修得したものとして認定することができます。
- (2) 編転入学後、卒業資格以外の諸資格が取得できない場合もあります。
- (3) 合格発表後に出願資格がないと判明した場合は、合格が取り消されます。
- (4) 出身学校での卒業および進級が判明した段階で、卒業証明書または進級に関する証明書を提出してください。

3 受験上の注意

試験会場	<p>本学試験会場の下見は試験日前日まで行うことができます。但し、試験室への入室はできません。駐車場はありませんので、車での来場はできません。</p>
試験会場の注意	<p>試験会場では事前説明や写真照合を行いますので、試験開始30分前には必ず着席してしてください。 解答は、鉛筆・シャープペンシルを使って記入し、訂正する場合は消しゴムを使用してください。 試験室には時計がありませんので、各自で持参してください。 時刻表示以外の機能を持つ時計・下敷・定規・計算機の持ち込みはできません。 携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等の通信機能を持った機器を時計として使用することはできません。試験室に入る前に電源を切ってかばん等に入れておいてください。 入学試験中に緊急の連絡が保護者の方からある場合は、入学広報課に連絡するようにしてください。 入学試験は中断せずに入学試験終了後に受験生本人に内容を伝えることを原則とします。 緊急連絡以外の取次ぎは一切できません。 ※関係者確認のために、受験票の内容を確認させていただきますので受験票のコピーを保管しておいてください。</p>
遅刻限度	<p>小論文試験は試験開始後50分まで、講義形式の試験は講義開始後45分まで遅刻を認めます。 なお、公共交通機関の遅延等やむを得ない理由の場合は、その旨を試験本部に申し出てください。</p>
その他	<p>試験開始後は、試験終了時刻まで退室できません。但し、体調が悪い場合は試験監督者に申し出てください。 試験当日、料金を取って合否メールなどを取り扱っている者があっても、大学とは一切関係がないため責任は負えません。十分注意してください。 昼食が必要な場合は、各自持参してください。 身体などに障害があり、入学試験で何らかの配慮を必要とする場合は、別冊子「各入学試験 共通事項」P.5を参照してください。 一旦提出された出願書類および解答用紙は、返還・閲覧などできません。 入学試験要項の内容などで変更が発生した場合は、本学ホームページでお知らせします。</p>

4 入学手続期間

第2・3学年一般編転入学試験、第3学年同窓会推薦編転入学試験

	前期日程	後期日程
第1次手続期間	2023年11月2日(木)～11月9日(木)消印有効 入金は午後3時まで 予備日程で実施した場合 11月13日(月)～11月20日(月)消印有効 入金は午後3時まで	2024年2月26日(月)～3月4日(月)消印有効 入金は午後3時まで 第1次手続期間のみのため、 下記の「①一括手続」しか選択できません
第2次手続期間	2024年3月4日(月)～3月11日(月)午後5時必着 入金は午後3時まで	

入学手続を完了するためには、学校納付金(入学金+授業料等)の納入と手続書類の送付が必要です。

入学手続は、以下の2つの方法から状況に応じて選択できます。

- ①一括手続(第1次手続のみで手続き完了)
 - ・第1次手続期間に学校納付金(入学金+授業料等)の納入と手続書類一式送付
※授業料等の納入は、1年間分もしくは半期分の選択が可能です。
- ②分割手続(第1次手続と第2次手続の2回に分けて手続き完了)
 - ・第1次手続期間に入学金の納入と必要書類送付
※第1次手続期間に必ず入学金の納入が必要です。第1次手続期間に入学金の納入がない場合、入学手続をとることができなくなります。
 - ・第2次手続期間に授業料等の納入と必要書類送付
※授業料等の納入は、1年間分もしくは半期分の選択が可能です。

詳細は、本学ホームページ「受験生サイト」に掲載される入学手続要項で確認してください。

第2・3学年日本福祉大学中央福祉専門学校推薦編入学試験

	前期日程
第1次手続期間	2023年12月8日(金)～12月15日(金)消印有効 入金は午後3時まで
第2次手続期間	2024年3月4日(月)～3月11日(月)午後5時必着 入金は午後3時まで

入学手続を完了するためには、学校納付金(入学金+授業料等)の納入と手続書類の送付が必要です。

入学手続は、以下の2つの方法から状況に応じて選択できます。

- ①一括手続(第1次手続のみで手続き完了)
 - ・第1次手続期間に学校納付金(入学金+授業料等)の納入と手続書類一式送付
※授業料等の納入は、1年間分もしくは半期分の選択が可能です。
- ②分割手続(第1次手続と第2次手続の2回に分けて手続き完了)
 - ・第1次手続期間に入学金の納入と必要書類送付
※第1次手続期間に必ず入学金の納入が必要です。第1次手続期間に入学金の納入がない場合、入学手続をとることができなくなります。
 - ・第2次手続期間に授業料等の納入と必要書類送付
※授業料等の納入は、1年間分もしくは半期分の選択が可能です。

***印のついた入学手続期間の入金の締切は、入学手続期間の最終日前日となります。ご確認の上、ご納入ください。**

詳細は、本学ホームページ「受験生サイト」に掲載される入学手続要項で確認してください。

第3学年指定校推薦編入学試験

	前 期 日 程	後 期 日 程
第1次手続期間	2023年12月8日(金)～12月15日(金)消印有効 入金は午後3時まで	2024年3月18日(月)～3月22日(金)午後5時必着 入金は3月21日(木)午後3時まで*
第2次手続期間	2024年3月4日(月)～3月11日(月)午後5時必着 入金は午後3時まで	第1次手続期間のみのため、 下記の「①一括手続」しか選択できません

入学手続を完了するためには、学校納付金(入学金+授業料等)の納入と手続書類の送付が必要です。

入学手続は、以下の2つの方法から状況に応じて選択できます。

①一括手続(第1次手続のみで手続き完了)

- ・第1次手続期間に学校納付金(入学金+授業料等)の納入と手続書類一式送付
※授業料等の納入は、1年間分もしくは半期分の選択が可能です。

②分割手続(第1次手続と第2次手続の2回に分けて手続き完了)

- ・第1次手続期間に入学金の納入と必要書類送付
※第1次手続期間に必ず入学金の納入が必要です。第1次手続期間に入学金の納入がない場合、入学手続をとることができなくなります。
- ・第2次手続期間に授業料等の納入と必要書類送付
※授業料等の納入は、1年間分もしくは半期分の選択が可能です。

*** 印のついた入学手続期間の入金の締切は、入学手続期間の最終日前日となります。ご確認の上、ご納入ください。**

詳細は、本学ホームページ「受験生サイト」に掲載される入学手続要項で確認してください。